就職特集

4～5面

企業の採用スケジュールは、基準を定める経団連の「倫理憲章」の見直しで、2016年3月の卒業予定者から大きく変わる。会社説明会の解禁時期を3年次生の3月、面接などの選考活動は4年次生の8月へと、現行より説明会は3カ月、選考活動は4カ月遅らせることになった。短期決戦となった就職活動を乗り切るために、早い段階で進路の方向性を決めておくことが重要だ。3年次生の本格的な就職活動を前に開催された育友会の就職懇談会の模様と、2013年3月卒業者の就職状況を報告する。

育友会主催 就職懇談会

将来を見据えた職業観を 3年次生までに身につけて

▶ 多くの保護者が参加し、熱心に耳を傾けた

育友会（髙野雅夫会長）が主催する就職懇談会が7月5日、神田キャンパスで開催された。就職活動の動向や専修大学の就職支援体制を紹介するもので、1年次生から4年次生までのご父母・保護者約200人が参加。就職課の職員や企業の採用担当者、社会人4年目のOG、内定を勝ち取った4年次生らが語る生の情報に聞き入った。

髙野会長はあいさつで「今の学生はネット情報に頼りがち。私自身、この懇談会で得た知識をもとに息子に就職課を利用するように助言できた」と会の趣旨を説明。髙橋力就職部次長は求人倍率の上昇傾向を告げる一方、現3年次生から採用活動の開始時期が3カ月繰り下がることを挙げ「選考期間の短縮に対応するには、3年次生までに将来を見据えた職業観を身につけておくことが必要」と強調。インターンシップや就職支援プログラムへの参加が重要になると語った。

パネル討論

「就職活動成功への道」も

採用活動に携わる立場から、刃物メーカーの貝印㈱（本社・東京）管理本部総務人事部の齋藤由希子チーフマネジャーが講演。求める人材は、自分で考えて動く「考動力」があり、諦めずに取り組む人だと語り、「企業の本社で行われる会社説明会はどんな会社なのか自分の感性で判断できるチャンス。どんどん質問を」と作戦を伝授した。

ご父母・保護者の関心が高い公務員試験については、エクステンションセンターの職員が各種公務員試験の合格・内定状況やさまざまな公務員試験講座を紹介した。

「就職活動成功への道」と題して行われたパネル討論には、就職活動を終えた4年次生3人のほか、社会人4年目の野崎翔子さん（平23経済）が参加。三菱鉛筆㈱国内営業部で販売促進業務の企画を担当している野崎さんは「社風が合っているなどの理由で志望した。OG訪問を受けるが、熱心な学生には全力で応援したくなる。就活で悶々としている時は温かい食事が励ましになった」。

飾らずに語る4年次生のエピソードに、会場は笑いに包まれたりしんみりしたり。「就職支援のお勧めの講座は」「就職活動に学業成績は関係するのか」など保護者からも本音の質問が飛び出した。

大野彩夏さん（法律学科、山田創一ゼミ）＝右端

インターンシップが意識を変えた

3年次生の夏、大学で募集していた損保会社と人材紹介会社のインターンシップに参加しました。期間はどちらも5日間で「友達がやるなら私も」という程度の動機でしたが、言いたいことを短時間でまとめる訓練になり、社会人の方と臆せず話せるようになりました。就職への意識が変わった気がします。

初めから金融関係を目指していたわけではなく、説明会に行って女性が活躍している企業を探したら金融業界に落ち着きました。総合職ですが、限定されたエリアで個人のお客さまを担当する「エリア総合職」。総合職でも選択肢が二つあります。

自分が何に打ち込みどう成長したのか、伝えられるなら学業成績は関係ないのかもしれません。自信を持って語れることがないなら、何でもいいから新しいことに挑戦して見つけてほしいです。

油谷 翼さん（マーケティング学科、神原理ゼミ）＝右から2人目

参考になったOB、両親の意見

洋服が好きでカジュアルブランドでアルバイトした経験もあり、繊維関係の会社を志望しました。

就職先は世界遺産になった富岡製糸場を長年管理してきた会社。社宅があり、社員のコミュニケーションを重視していることにひかれました。

就職活動では約15社のOBを訪問。「残業はないと言ってるけど、ある」とか、説明会では聞けない本音の話を聞かせてくれて参考になりました。

面接で一番困ったのは「3分間自由に自己PRして」というもの。靴集めが趣味なので、靴の良さやなぜ集めているのかを必死でしゃべり続けました。

最終面接の朝、両親から電話がきて「いま声を出しておくと面接でも声が出る」と言うんです。実際、そのとおりに内定が取れて感謝感激。

採用担当の方に「第一声が良かった」と言われました。

金子卓哉さん（政治学科、庄菊博ゼミ、野球サークル）＝右から3人目

第一志望の不採用を乗り越えて

長男で出身は群馬県。去年の今頃は親の勧める公務員という進路でいいのか葛藤していました。

企業説明会で専門商社に興味を持ち、内定を得たのは環境ビジネスにも力を入れる三菱電機系列の会社です。ゼミで代表を、サークルで主将を務めていたので、ゼミ生をまとめる工夫や勝つためにどんなチームづくりをしたのかをPRしました。

第1志望の会社に3次面接で落とされたんです。「これでよかったと思える結果にする」と考えるようにして何とか持ちこたえましたが、本当の最中で、泣きながら勉強しました。

苦労して内定を得たのに、両親の理解を得るまで時間がかかりました。「ここを受け直したら」という度重なるメールに一時は閉口しました。学生が決断したらぜひ尊重してあげてください。

生田で学内企業説明会

253社、4年次生・卒業生延べ410人が参加

「学内企業説明会in生田」が6月4日から6日までの3日間、生田キャンパスで開催された。4年次生や卒業生ら延べ410人が参加し、真剣な面持ちで各企業の説明を聞いた＝写真。

専大生の採用に積極的で、多様な業種、職種の企業253社が参加。学生たちは就職課員からの説明を受けた後、各企業のブースを訪問し、会社の概要や採用情報などをメモした。積極的に質問する学生も多く、盛況な会となった。

8月にはサテライトキャンパスで「学内企業説明会inサテライト」が実施される。

■実施日＝8月5日（火）、6日（水）8日（金）

■時間＝5、6日は10時～13時、14～17時（午前、午後で企業入れ替え。30分1展開）8日のみ13時～17時

■場所＝生田サテライトキャンパス（向ヶ丘遊園駅北口徒歩1分）

※参加企業などの詳細はS－net掲示板に掲載。時間内出入り自由。